

## 第4章

## 理想像と目標設定

## 4-1 理想像

今後の下水道事業は人口減少や節水機器の普及などにより、さらに汚水量が減少することが予想されています。しかし、今後、管路の耐震対策や老朽化対策など、取り組むべき施策は多く、下水道事業をとりまく環境が一層厳しくなることは間違いありません。このような状況においても、市民生活にあって当たり前の下水道として、安全・安心で快適な暮らしを確保し続ける必要があります。

本ビジョンでは、50年後、100年後においても

## 『安全・安心で快適な暮らしを続けられる下水道』

を理想像とします。

## 4-2 目標設定

設定した理想像を具現化するために、第3章で示した本市下水道事業の主な課題を表4-1に示す3項目「安全・安心」、「持続」、「快適」に分類し、これらを目標に設定しました。

3つの目標に対して、本市の実情を踏まえた施策体系と実現方策を次章で示します。

表4-1 本市下水道事業が抱える主な課題の分類と目標設定

第3章で示した主な課題	目標設定
①重要な管路の耐震化推進 ②下水道BCPなどの減災対策の充実	安全・安心
①老朽化する管路の計画的な点検・調査、修繕・改築の推進 ②将来の更新を見据えた計画が必要 ③雨天時浸入水を抑えるため、不明水調査の継続実施 ④人口減少による収入減により、地震対策・管路更新や起債償還の資金確保が困難となる経営状況に陥る恐れ ⑤少ない職員数の中で、今後も下水道事業の継続・維持が必要 ⑥業務ごとに直営と委託のバランスを図り、経費縮減の可能性検討 ⑦次世代職員への技術継承を図るための仕組みづくりの検討	持続
①下水道整備の困難な箇所への対応方針の検討 ②下水道接続率のさらなる向上に向けた取り組みの検討 ③新たに下水道接続する事業場などへの指導	快適

「安全・安心」とは、災害が起きても必要な機能を維持または速やかに復旧することで、市民の暮らしを守ることができる下水道の確保。

「持続」とは、人口が減少していく状況においても、健全かつ安定的な事業運営ができる下水道の確保。

「快適」とは、汚水を速やかに排除・処理することで、市民の快適な暮らしを提供・維持し、環境を保全することができる下水道の確保。

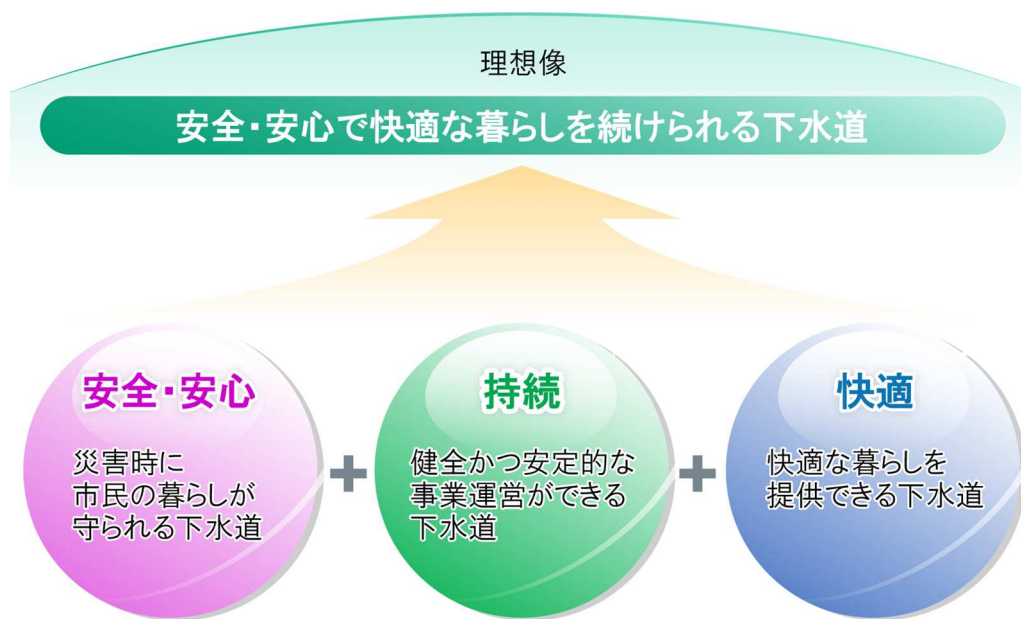


図 4-1 本市下水道事業の理想像と3つの目標

